

[ニュース] 3回目のISMS更新審査完了

リコーグループは、2004年にグループでISMS認証を取得して以降、10年が経過し、2013年度に外部審査機関による3回目の更新審査を受審し認証を更新しました。

情報セキュリティ体制の構築からグローバルでのマネジメントシステム体制の確立まで、常に世の中の動向を注視し、さまざまな課題を継続的に改善してきた10年間です。

——10年間の活動——

1. 2002年 「情報セキュリティに関する経営者の声明」を発行しリコーグループのISMS活動を開始しました。
いくつかのパイロット部門で運用を先行し、展開してきました。
2. 2004年12月、世界初の5万人規模のISMS認証を取得しました。その後、海外のグループ会社へ展開を開始しました。
3. 2007年、グループ共通で順守すべき対策とそのレベルを「リコーグループ情報セキュリティ対策共通基準」として定め、その定着を図りました。また、3年ごとの更新審査を受審しISMS認証を更新しました。
4. 2010年、2回目の更新審査を受審しISMS認証を更新しました。
5. 2011年、有効な情報セキュリティレベルの維持・向上を目指しつつ、ISMS運用の効率化へ向けた活動を開始しました。

6. 2013年、3回目の更新審査を受審しISMS認証を更新しました。これは安定した情報セキュリティレベルの維持と効率化の両立を示すものです。

企業や情報をとりまく環境に、新しい技術が次々と生まれ、ワークスタイルも大きく変化してきました。これに関わる未知のリスクも顕在化しています。

リコーグループは有効な情報セキュリティ活動を推進し、IT技術の実装や運用方法の工夫・改善により新たな脅威に対応するとともに、情報の利活用に向けて創意工夫していきます。

2013年10月1日に、ISO/IEC 27001の改訂版 (ISO/IEC 27001:2013) が発効されました。

リコーグループは情報セキュリティへの取り組み当初から「情報セキュリティ体質」の確立・強化を目指し、「全員参加」、「日々の管理と継続的改善」、「社内実践」を推進してきました。たとえば改訂版における「5.1b)組織のプロセスへのISMS要求事項の統合」は業務と一体化した情報セキュリティ活動を要求しています。リコーの情報セキュリティ体質は「特別に意識しなくても、あたりまえにセキュアな行動が取れる組織体質をめざす」を掲げています。その他、改訂された多くのISMS要求事項への対応を確認し、2014年度の移行審査に備えています。

グループISMSの取組みの歩み

	グループ方針	外部認証	共通化などの取組み
2002年	◆「情報セキュリティに関する経営者の声明」の発行		
2003年	◆ グループ統一認証取得方針		
2004年		◆ 国内でISMS統一認証取得	
2005年	◆ 個人情報保護法への対応	◆ 海外工場認証取得	情報セキュリティサーベイの実施 サーバーセキュリティチェック
2006年		◆ 欧州・アジアパシフィック認証取得	
2007年		米州認証取得、 ◆ グループ統一認証更新審査（1回目）	◆ 国内適用開始
2008年			◆ グローバル展開
2009年			
2010年		◆ グループ統一認証更新審査（2回目）	
2011年	◆ グループISMS活動の効率化		
2012年			
2013年		◆ グループ統一認証更新審査（3回目）	

「情報セキュリティ共通基準」の策定、展開・定着

「サーバーセキュリティガイドライン」の策定と「定期検査」の実施・展開